

日田木青会だより

2026
令和7年度
2月号

日田木材協同組合事務局
日田市大字東有田字新山2776-6
TEL:0973-24-2167

10月18日(土)・19日(日) 農林水産祭木工教室

先日開催された「大分県農林水産祭」において、我々、大分県木材青壮年連合会は「イスキット木工教室」のブースを出展いたしました。

これは、次世代を担う子供たちに木の温もりと物作りの楽しさを伝える「木育(もくいく)」活動の一環となります。

当日は朝から多くのご家族連れがブースを訪れ、子供たちが小さな手で金槌を握り、真剣な表情でイス作りに挑戦する姿が見られました。我々メンバーも、木材の香りや手触りの良さ、その特性などを伝えながら、参加者一人ひとりを丁寧にサポートしました。

準備した75セットのキットは、予想を上回るご好評をいただき、予定時間前に終了するほどの大盛況となりました。会場のあちこちで完成したイスを誇らしげに掲げる子供たちの笑顔が溢れ、我々も大きな喜びと手応えを感じることができました。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。当連合会は、今後も木材の魅力を発信する活動に努めてまいります。

記事／横尾 昌紀



8月3日(日)

夏休み木工教室

8月3日(日)、夏休み木工教室を開催しました。今年は日田市複合総合施設A O S Eを利用していただきました。

とても使いやすく、空調も十分に効いていたため、熱中症の心配も少なく、安心して開催することができました。今年はコープ様にご協賛いただき、4名の方にお手伝いに来ていただきました。準備から当日の受付まで一日を通してご協力いただき、大変助かりました。

肝心の木工教室は、朝から多くの方にお越しいただき、用意していた70セットの椅子キットはすべてなくなりしました。多くの方に木に触れ合う時間を提供できたのではないかと思います。

参加者の中には、これまでの木工教室に参加されたことがあり、再度参加するために来てくださった方もいらっしゃいました。次回の木工教室も、今回同様にご多くの方に参加していただければ嬉しく思います。

記事／末金 洋行



12月7日(日) 木と暮らしのフェア木工教室

12月7日(日)、パトリア日田にて、恒例の「木工教室」を開催しました。

当日は親子連れをはじめ、友人同士など幅広い世代の方々が来場され、会場は終始にぎわいを見せました。用意していた椅子キット40セットはすべて完売し、会場内は木の香りに包まれながら、参加者それぞれが協力し合い、楽しそうに椅子作りに取り組んでいました。

完成した椅子を手に、達成感あふれる表情を見せる姿が多く見られ、ものづくりを通じて木の温もりや魅力を感じてもらえる、笑顔と活気に満ちた木工教室となりました。

記事／梶原 治



9月22日(月)

大山祇神社掃除

9月22日(月)、放生会に合わせて大山祇神社にて清掃活動を行いました。

当日は、参道の掃き掃除をはじめ、社殿の床や手すりの水拭きまで、一つ一つ丁寧に作業を進め、一年を通して溜まった汚れをきれいに落としました。

清掃後は境内全体が明るくなり、参拝者の皆さまにとつて、気持ちよくお参りいただける環境を整えることができました。

記事／梶原 治



新入会員を募集しております！お気軽にお問合わせください！

日田木材協同組合 TEL 0973-24-2167 日田市大字東有田字新山2776-6

f <https://www.facebook.com/日田木青会> -1624971187771643/

日田木青会

検索





11月8日(土)・9日(日) 九州木材青壮年連合会 令和7年度九州会員大分 【委員長所見】

令和7年11月8日(土)および9日(日)の両日にわたり、九州各地より多くの会員をこの大分の地にお迎えし、「九州木材青壮年連合会 令和7年度九州会員大分大会」を盛大に開催できましたことは、実行委員長として感無量であり、ご参加いただいた皆様ならびに関係各位に厚く御礼申し上げます。

初日の記念式典は、ホテル日航オアシスタワーにて厳粛な雰囲気の中で幕を開けました。佐藤樹一郎大分県知事をはじめとする多数のご来賓にご臨席

を賜り、オープニングムービーや歴代会長の紹介を通じて、我々九州木材青壮年連合会の歴史と誇りを再確認する場となりました。

式典後には、建築家・坂茂氏の設計による大分県立美術館(OPAM)への見学ツアーを実施し、県産杉を用いた美しい格子状の外観と空間に触れることで、木材業界に身を置く者として改めて木の可能性と素晴らしさを共有する意義なひとときとなりました。

続く大懇親会は、日本文理大学チアリーディング部「BRAVES」による力強く華やかなパフォーマンスでスタートし、会場の熱気は一気に高まりました。大分県産マグロの豪快な解体ショーや、県内各地の地酒、そして安心院ワインの振る舞いなど、大分が誇る食と文化のおもてなしを心ゆくまで堪能していただきました。美味しい料理と酒を囲みながら、会場のあちこちから笑顔の輪が広がり、会員同士や来賓、先輩方が膝を突き合わせて語り合うことで、大いに懇親を深めることができましたと確信しております。

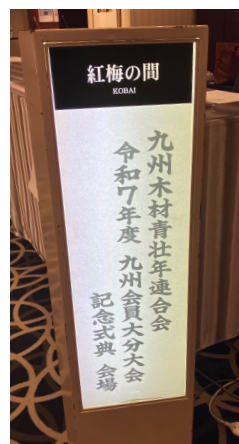
また、会場が一体となって沸き立ったのが、7年ぶりの復活となった伝説の企画「第2回 アームスリング大会」です。屈強な木材人たちがプライドを懸けてぶつかり合う姿は圧巻で、かつてを彷彿とさせる熱戦に会場中が釘

付けとなりました。ファイナルでは次年度開催地である宮崎県会館による熱いキャラバンが行われ、バトンがしっかりと次なるステージへと繋がりました。翌9日のエクスカーションでは、それぞれの趣向に合わせて親睦を深めました。「別府地獄めぐり」では、海地獄やかまど地獄の湯けむり情緒と足湯を楽しむ、おにやまホテルでのランチビュッフェで旅の最後を締めくくりました。

一方、臼杵カントリーで開催されたゴルフコンペ「CONNECTカップ」では、その名の通り白球を通じて会員同士の心が繋がる素晴らしいプレーが繰り広げられました。

本大会を通じて得られた、会員間の強固な絆と共有した感動は、何物にも代えがたい我々の財産です。準備から当日まで奔走し、私を支えてくれた最高の大分メンバー、そして温かいご支援をいただいた全ての皆様に心より感謝を申し上げ、大会の開催所感とさせていただきます。

記事／横尾 昌紀



10月16日(木) 夢授業

10月16日(木)に日田市立三隈中学校で行われた夢授業に参加致しました。

夢授業とは様々な職業の方が集まり、中学生や小学生に対して社会にはどのような職業がありそれが一体どのような仕事をしているかを知ってもらい、そこから将来について考えもらうといったものです。

私は、木材産業を知ってもらおうということで、始まりは木を育てるところから、そしてその木が製品になるまでの流れを話しました。学生の方と話せるのは短い時間でしたが、その中でも木を育てることが山や地球にとってとても重要なことや、日田市にとっては木に関わる仕事がどれだけ身近である



かを熱を持って話したので少しでも覚えて帰ってくれていたら幸いです。

夢授業は私にとっては初参加でしたが、私自身も自分の仕事について細かく学んだり、改めて向き合うことができ、いい時間になりました。

今回の夢授業で上手く伝えられなかったこともあるのでそれは改善して来年はさらにパワーアップした状態で参加したいと思います。

記事／金谷 英太

